

## 栄光から栄光へと変えられる (第二コリント 3 : 7-18)

2020年5月31日 (日)

ジョーイ・ゾリーナ牧師

---

イントロダクション: 今日は7節-18節からピックアップします。今日の質問はこれです。「人々はどのように変えられるでしょう？」キリスト教は外面的な態度の変化だけを求めているのでしょうか。クリスチャン人生でどのように進歩していくのでしょうか。3つのことを洞察して質問に答えていきたいと思います。: 1. 過去を超える消えることのない栄光、2. イエスが私たちのために除いた覆い (おおい) 3. 私たちを造りかえるキリストの栄光

---

### 1. 過去を超える消えることのない栄光

「7 ところで、石に刻まれた文字に基づいて死に仕える務めさえ栄光を帯びて、モーセの顔に輝いていたつかの間の栄光のために、イスラエルの子らが彼の顔を見つめえないほどであったとすれば、8 霊に仕える務めは、なおさら、栄光を帯びているはずではありませんか。9 人を罪に定める務めが栄光をまもっていたとすれば、人を義とする務めは、なおさら、栄光に満ちあふれています。10 そして、かつて栄光を与えられたものも、この場合、はるかに優れた栄光のために、栄光が失われています。11 なぜなら、消え去るべきものが栄光を帯びていたのなら、永続するものは、なおさら、栄光に包まれているはずだからです。」

パウロはここで「栄光」という言葉を10回使用し、18節ではさらに2回使用しています。小さい栄光と大きな栄光があると述べています。ここでいう「栄光」とは、神の臨在の素晴らしさである「明るく輝く、壮大な状態」を意味します。それで、彼は古い契約の栄光が消えていったと言っています、それは新しい契約の栄光が上回っているからです。

さて、キリスト教にまだ馴染みがない人のために説明すると、『死に仕える務めは「石に刻まれた文字」』（7節で）と言ったとき、神様の律法のことを言っています。彼はイスラエルの歴史の中のモーセの時代について話しています。イスラエルが神の律法を守ることができなかったために、二度目に神が律法を与えたときです。出

エジプト記34：29-35を読むと、モーセは神に会うためにシナイ山に登っていました。しかし、モーセが神の律法を持って山から降りてくる前に、イスラエル人は約束を破り、自分たちで作った黄金の子牛を拝んでいました。それが罪というものです。罪とは、私たちの愛のある神よりも、自分たちで作った「黄金の子牛」を愛することです。聖書でいう、偶像崇拜とは神様よりも他のことを愛すること、ましてやそれが良いことで会っても、道徳、キャリア、評判、成功、所有、恋愛、業績などでもです。偶像崇拜とは、神を神として崇拜することに失敗することであり、神の代わりに小さなことを崇拜することです。それは神の栄光よりも、自己の栄光の追求をしていて、空の栄光につながります。

そして、パウロはここで、神の律法は「モーセの顔に輝いていたつかの間の栄光のために、イスラエルの子らが彼の顔を見つめえないほどであった」と述べています。律法は非常に素晴らしくて聖なるものだったので、1日でも律法を守ることができなかったイスラエル人を罪に定め、死に至らせました。これが、パウロがこう言っている理由です：モーセの顔の肌は光を放っていた。人々は恐れて近づけなかった（出エジプト34：30）モーセによって律法が与えられましたね、そしてそれは死と罪の宣告しか与えられませんでした。律法はいのちを与えることはできなかったからです。気づいてください、多くの人々が誤解するように、パウロは律法がダメだと言っているわけではありません。神の栄光はモーセの顔から非常に明るく輝いていたため、人々はモーセの顔を見ることを恐れていました（出34:30）。モーセによって与えられたように、法律が命を与えることができなかったので、法律は死と非難しかもたらしませんでした。多くの人々が誤解されがちなので、パウロは法律が悪いとは言っていません。モーセを通して神によって与えられたように、律法は神聖です。コリントの偽りの教師たちは律法的な宗教をもたらしていたことを思い出してください（ユダヤ人の祖先であることを11章で自慢さえしていました）。それでパウロはこう言います：古い契約はそのような栄光を持っていたとしても、それは終わらせられました。

彼の言うことに注目してください。「御霊の働き」は「死をもたらした働き」よりも栄光が大きいのです（7-8節）。そして9説では、義をもたらすミニストリーは非難するミニストリーよりも栄光が大きいと彼は言います。そして11説で、彼が言うには、永遠に続くミニストリーは衰退していくミニストリーよりも栄光が大きいのです。

では、ここであなたへの質問です。過去と現在の罪や失敗のために落胆したことがありますか？あなたは克服するのが難しい習慣的な罪と格闘していますか？基準ま

でいけなくて罪悪感を感じたり、罪に対して無力であるという思いに苦しんでいますか？心から神に従うのが難しいと感じていますか？それがあなたなら、ここに素晴らしいニュースがあります。9節でパウロは言います。「人を罪に定める務めが栄光をまもっていたとすれば、人を義とする務めは、なおさら、栄光に満ちあふれています。」新しい契約の下では、死も非難もありませんが、御霊には義と命があります、あなたのために。かつて栄光を持っていたものが、イエス・キリストによって大きな栄光が訪れたため、まったく栄光がなくなったのです。

太陽の前のろうそくのように、古い契約は恵みの新約と自身を比べて青ざめます。イエスは、私たちが値しなかった義を受け取るために、私たちが受けるべきだった罪の定めを受けました。イエスは、私たちが成し得なかった律法を成し遂げるために来られました。イエスは私たちのためにあらゆる側面で基準に達するために来られました。イエス様にはふさわしくない死のミニストリーを受け取られたので、私たちが受けるに値しない命を受け取りました。次を見てみましょう。

---

## 2. イエスが私たちのためにのぞいた覆い（おおい）

「12 このような希望を抱いているので、わたしたちは確信に満ちあふれてふるまっております、13 モーセが、消え去るべきものの最後をイスラエルの子らに見られまいとして、自分の顔に覆いを掛けたようなことはしません。14 しかし、彼らの考えは鈍くなってしまいました。今日に至るまで、古い契約が読まれる際に、この覆いは除かれずに掛かったままなのです。それはキリストにおいて取り除かれるものだからです。15 このため、今日に至るまでモーセの書が読まれるときは、いつでも彼らの心には覆いが掛かっています。16 しかし、主の方に向き直れば、覆いは取り去られます。」

パウロは言います（12節と13節）、「このような希望を抱いているので、わたしたちは確信に満ちあふれてふるまっております、モーセが自分の顔に覆いを掛けたようなことはしません。」モーセはなぜ自分の顔に覆いをかぶったのですか？出エジプト記34章33節に戻ると、モーセは出したままの顔でイスラエルと話し終え、神と話をしに行くまで、再び覆いを被りました。パウロによると、モーセは人々が彼の顔に反映する神の栄光を見れるようにしたということです。しかし彼は栄光が消え去るべきものを彼らに見えないようにしました。パウロが言うには、それは「消え去る

べきものの最後をイスラエルの子らに見られまいとして」という理由でした。モーセは彼の顔を覆い、イスラエル人が彼の顔の栄光の「最後」を見つめることができないうにしました。

まるで小学校の時のようです！ 複雑な数学を理解することができなかつたので、教師は私たちが代数学を学ぶことを否定しました。つまり、モーセは自分の働きが一時的なものだったので顔を覆いました。そして、彼はイスラエル人に彼らがその時にわかるものだけを見せました。そして気づいてください：彼らの心の中でより深い何かが起こっていましたね？ パウロは14節でこう語っています。「しかし、彼らの考えは鈍くなってしまいました。今日に至るまで、古い契約が読まれる際に、この覆いは除かれずに掛かったままなのです。」

ここでの「考えが鈍くなった」という言葉は受動的で、それは「心を鈍くする、頑なになる、無神経になる、または学びたくなくなる」という意味です。それは、不信仰の層のせいで固まってしまっている、教えを受け入れられない心です。パウロは言います：頑なさの覆いがイスラエルの心を覆っていました。彼らは神のことを理解、感謝することができず、神の律法に従いませんでした。

あなたが「鈍くなった心」を持っているかどうかどうやって知るのですか？ 知る方法の一つは、あなたの心が神の事に対して鈍くなっていることです。聖書を読んだとき、それは鈍くて退屈だと思いませんか？ 読みたいという願いがなければ、また神についての感動がない時は、心が鈍くなっているかもしれません。

ここでパウロは言います：「今日に至るまで、古い契約が読まれる際に、この覆いは除かれずに掛かったままなのです。」そして彼は15節でも同じことを言っています、「このため、今日に至るまでモーセの書を読まれるときは、いつでも彼らの心には覆いが掛かっています。」皮肉なことに、聖書（モーセの律法）が安息日に毎週読まれていても、人々の心は鈍いままで、彼は、「同じ覆いは取り去られていないままです」と語っています。そして、「いつでも彼らの心には覆いが掛かっています。」-彼らは新しい契約について、まだ暗闇にいます。つまり、彼らの心には霊的な盲目があり、彼らがモーセの律法を読んだとき、彼らは神の栄光の光を見ることができませんでした。彼らは霊的な意味を理解できませんでした。彼らの心は再生される必要がありました。ですから、今日でも、ユダヤ人はモーセ律法の衰退した栄光が、神の恵みの新しいのちを指し示すものと見ることはできません。パウロが言っているように、たとえあなたが宗教的コミュニティにいたとしても、迷子になり、盲目で、鈍くなることがあるのです #クリスチャンの家族で育ったことを覚えています。祖母が聖書から読んだことは何も理解できませんでした。私の心は不信仰の層（レイヤー）によって固くなりました。家族の祈禱会で聖書を聞きながら座っていたのですが、霊的な感覚がつかめませんでした。私は名前だけのクリスチャンで、霊的に盲目で心は鈍いままでした。ある日、神の御霊が私の心の覆いを取り去り、私はキリストの栄光を味わい、見るようになりました。パウロは14節で言っています、「今日に至るまで、古い契約が読まれる際に、この

覆いは除かれずに掛かったままなのです。それはキリストにおいて取り除かれるものだからです。」覆いが取り除かれるのはキリストを通してです。鈍くなった心が和らぐのはキリストを通してだけです。キリストを通してのみ、新しい心が与えられます。私たちの鈍い心が神に対して生き生きとなるのは、キリストを通してのみです。パウロは言います。「今日に至るまでモーセの書が読まれるときは、いつでも彼らの心には覆いが掛かっています。16しかし、主の方に向き直れば、覆いは取り去られます。」

言い換えれば、私たちがキリストに目を向けると、心を覆う不信仰の覆いが取り除かれます。実際、ルカ23:45が言ったことを覚えていますか？イエス様が十字架で最後の息を引き取られる直前に、「神殿の幕が真っ二つに引き裂かれました」と書かれています。イエスが私たちの罪の定めを受けて、神への道を可能にされました。十字架の働きによって、イエスは私たちの心の覆いを取り去りました。そして今、私たちは彼の栄光を見ることができます。これが、モーセとは異なるパウロが言う、私たちの大胆さです。モーセとは異なり、新しい契約の働きの栄光は覆い隠されず、イエス・キリストによって明らかにされています。「覆いはキリストを通してのみ取り除かれます。」そして「主に目を向けると、覆いは取り除かれます。」イエスが覆いを取り除いたので、渡したいはキリストに目を向け、大胆に神の栄光の臨在に入ることができます。もし、あなたが初めてキリスト教を知ったなら、キリストが私たちの目をふさいでいた覆いをとってくれたので、あなたもキリストに目を向けることができます。ある曲、「アメージング・グレイス」であるように、「かつて私は盲目でしたが、今は見えます。」私たちは新しい目で見るのです。ですので、モーセの律法は、鈍った心と態度を変えることはできませんでした。しかし、キリストにおいて、聖霊は私たちの心を再生し、主に向かわせてくれます。そして主がイエスの輝かしい力をもたらし、私たちを「栄光から栄光へと」変えるのです。最後に見て見ましょう。

---

### 3. 私たちを造りかえるキリストの栄光

「17 ここでいう主とは、“霊”のことですが、主の霊のおられるところに自由があります。18 わたしたちは皆、顔の覆いを除かれて、鏡のように主の栄光を映し出しながら、栄光から栄光へと、主と同じ姿に造りかえられていきます。これは主の霊の働きによることです。」

17節で、パウロがどう言っているかに注目してください。「主とは霊です。」主は、霊なのです。聖霊は、強い力ではなく、人格を持っています。ここでの「霊」

とはキリストを表し、私たちがキリストを見ることができるよう顔にかかっている覆いを取り除きます。注意深く見てください！パウロは、「**主の霊**」と言っています。いいですか、あなたが心の中で聖霊が働いていると知る方法は、あなたがキリストと、キリストの栄光をもっと見たいと心から願う気持ちが強くなるということです。そしてパウロは、「主の霊のおられるところに自由がある」と言っています。今日、現代人は「自由」を「何でも好きなことをしていいのが自由」と考えます。だから、彼らは彼ら自身がした選択の奴隷となっています。もちろん、私たちに何でもしていい権利があります。しかし、私たちがしたいこと全てがキリストを尊重するものではありません。いいですか、ここでの「自由」という言葉は、罪への「許し」を意味するものではありません。恵みは罪をどんどん犯してもいいという自由や、自分が喜ぶ人生を生きる自由ではありません。それどころか、パウロは、「主の霊のおられるところに自由がある」と言っています。**罪の力からの自由**です。義務的で力のない宗教からの自由です。新しい契約のもとでは、律法主義からの自由があります。責められることからの自由です。死に対する恐れからの自由です。キリストの栄光を見る自由です。キリストのために生きる自由です。キリストに喜んで従う自由です。神の臨在に直接アクセスできる自由です。だから、本当の自由とは、ついにキリストの栄光をじっと見つめ、キリストを愛し、キリストに仕え、キリストに似た者となっていくということです。いいですか、モーセが神様の御前に行った時、顔の覆いを取り、戻るとまた覆いをかけました。（出エジプト記34:34）神様と会った時、モーセの顔の肌は光を放っていました。しかし、神様から離れると、その輝きは消えたのです！新しい契約では、キリストの霊が私たちの心の覆いを取り除かれました。モーセはもう一度彼の顔に覆いをかけなければならなかったけれど、私たちの覆いはもう取り除かれているのです。モーセは顔に覆いをしていました。しかし、私たちの顔の覆いは外されているのです。これが、18節でパウロが言っていることです。「私たちはみんな、顔の覆いを取り除かれて、**主の栄光**を見えています。」それは、「わたしたちは皆、顔の覆いを除かれて、鏡のように主の栄光を映し出している」ということです。これは絶えず、増大していく栄光です。モーセは神様と話すために、山に登らなければいけませんでした。私たちは神様と話すために山に登る必要はありません。全宇宙の神、モーセの神はイエス・キリストとなって私たちのところに降りてきてくださいました。今日でも、世界のたくさんの宗教が、その宗教の決まりや儀式の「山」を登って神に手を伸ばそうとしています。しかし、神様はキリストになってすでに私たちのところへ来てくださったのです。神様は、神様の臨在から私たちを引き離す覆いを取り除いてくださったのです。ですから、私は最初にこう質問したのです。「私たちはどのように変えられますか？クリスチャンはどのような過程を通して変えられますか？」これに対してのパウロの答えはこうです。「わたしたちは皆、顔の覆いを除かれて、鏡のように主の栄光を映し出しながら、主と同じ姿に造りかえられていきます。」

この「造り変えられて」という言葉を見てください。これがメタモルフォーシス（変形、完全な変化）という言葉を得るところです。それは、"Transfigure"、別の形へと姿が変えられるということです。マルコ9：2-8では、このTransfigure「別の姿に変わる」という言葉が、イエスの姿が変わったときに使われています。そして、外見が変わったように見えるのですが、実はそれは内側からの変化から来ています。内側も外側も変わるのです。つまり、あなたの内にある核である部分が、内側からも外側も変えられるのです。どうしてそんなことが起こるのでしょうか？

「メタモルフォーシス」という言葉は、青虫が蝶になる過程を表す言葉です。想像できますか？私の妻はバルコニーでレモンの木を育てています。そして、よく幼虫が美しい蝶になっているのを見つけます。ちょっと気持ち悪い、のろのろ這い回っている虫が、美しく成熟した蝶に変わるのです。だから、パウロが「わたしたちは皆、顔の覆いを除かれて、鏡のように主の栄光を映し出しながら、主と同じ姿に造りかえられていきます。」と言っているのです。これは、罪人が、徐々にキリストと同じ姿に変えられていくという過程です。そしてその変化は、自分自身を見るのではなく、キリストの栄光を見ることによって起こります。素晴らしいです！誰もずっと同じ状態のままにいる、ということはないのです。

私たちは、私たちが崇拝しているものになります。私たちがコンピュータースクリーンばかり見つめていたら、社会的なスキルは減っていきます。私たちは神の御前で、虫のようで、汚くて、価値のない、罪の中であって生きています。しかし、神様は恵みによって私たちに救ってくださいました。そして神様の恵みは、内側から外側まで、美しいキリストに似た姿になるように変えてくださるのです。内側にある全ての苦い思い、情欲、欲張りな心、偶像礼拝的な思いはキリストの栄光を見ることによって日々、造り変えられていくのです。イエスの姿は変わり、山の上で素晴らしい輝きを放ちました。これが、私たちがなろうとしているイメージです。聖霊が、あなたの心に覆われている覆いを日々取り除く時、あなたは外側に徐々に輝いていきます。ローマ12章2節で、パウロは同じ言葉を使いました。「あなたは自分の考えを新たにして、心を変えてもらいなさい。」言い換えると、あなたの思考生活でさえも、あなたの心が彼の栄光、美しさ、そして壮大さによって引き上げられるまで、キリストの真実と和解するために自由にされるのです。

最後に、パウロが言っていることに気づいてください。「私たちは皆、顔の覆いを取り除かれて」。造りかえられるということは、コミュニティでの経験です。パウロが言うように、私たちは皆、顔の覆いを取り除かれて、キリストのイメージに、共に変えられていきます。その変化は、共に生きる私たちの人生の中で神様の霊が働かれるコミュニティの中で起こります。**私たちが皆**、キリストの栄光から

目をそらさず、一緒に聖書のみ言葉を読み、キリストの栄光を見る時に変化が起こります。**私たちが皆**で、礼拝と賛美のために集まり、（今のこのオンラインの時でも）聖書のみ言葉を一緒に学び、**皆で**一緒に祈り、**皆で**一緒にお互いのために仕え合うときに変化が起こっていくのです。これが、恵みの中での過程と成長です。パウロは、私たちは「栄光から栄光へと」変えられると言っています。

そしてパウロは、「これは主の霊の働きによることです。」と言います。あなたの完全な聖化は、あなたの力に頼ることではなく、霊の力によるのです。造り変えられる変化は、主の栄光を見ることによって起こります。聖霊が働いているのです。聖霊が、栄光から栄光へと、私たちをコミュニティーの中で一緒に造りかえてくださっているのです。イエスに会い、顔と顔を合わせ、完全にイエスのようになれるまで、ますます増えていく栄光へと、変えられていくのです。